



地球温暖化と累積する経済リスク (7, 8月のごあいさつ)

平成 20 年 8 月 20 日

残暑お見舞申し上げます。

先日、ノーベル化学賞受賞学者李遠哲先生（台湾）の講演会で質問して、貴重なお話（ご回答）をしていただいた。

質問の内容は地球温暖化と累積する経済リスクの回避方法は如何に、ということである。

第一の心配は、グリーンハウス現象など地球温暖化について。

地球は今後どうなるのでしょうか。地球を救うというか、只今の進行を食い止めないとこのままでは人類は危機に陥ると思いますがどうすればいいのでしょうか。

先生、この先地球は、一体どうなるのでしょうか。

第二の心配は、リスクの累積が進む世界の金融や経済の情勢について。

経済や社会の状況は、10年～20年位前と較べて、とても悪化しているのではないのでしょうか。米国やヨーロッパの成長はありましたし、現に中国の拡大はありますがリスクがだんだんと大きくなって来て、この先どうなるのか、その爆発が心配ですが、一体どうすれば問題は解決されるのでしょうか。

この時の先生のご回答には心から感動した。

人間が地球に出て来て150万年間の長い時間のうち、ごく最近まで人間は太陽を中心にした自然の一部でした。しかし、この100年間は、人間は太陽に頼らず、地下から鉱石燃料を掘り出し、セメントや鉄鋼などいろいろなものを作り、そうすることで人類は発展してきたと思われています。しかしその発展は正しい道だったのでしょうか。人間が過去100年間歩いてきた道は間違っているということ、自然の資源とエネルギーの無駄使いをしてきただけです。100年前の生活のやり方に戻ることが解決のカギです。

また、私達はもっと深く考えて、科学と技術の発展の上でもっとシンプルな生活をして、合理的な社会を作って、本当に全世界の人々が一つのコミュニティになって動き出さないと、問題は解決しないと思います。科学や技術で問題解決をしようと思ったら間違えると思います。

この話を知り合いのアメリカ人にした。

めったなことでは感心しない、アスベストと鉛中毒の専門家であるが、彼は、そうだ、その通りだ、100年前から出直すことが一番だと、感心して言いました。